

■石井筆子 教育者。知的障害があった長女を孤女学院に預けた縁で、石井亮一と再婚、以後、滝野川学園経営に生涯。

いしいふでこ

遣欧使節・1861＝ 肥前国大村で、大村藩士渡辺清の長女に生まれる。母はゲン。

明治維新・1868＝ 7歳：

父は維新後、福岡県令をはじめ各地の県令を歴任。

初の日刊新聞1870＝ 9歳：

学問のすすめ1872＝11歳：祖父母・叔父に連れられ上京し、旧大村藩主の邸宅に住む。

明治6年政変 1873＝12歳：官立東京女学校に入学。鳩山春子らと同級。

幼時より、英語・フランス語・オランダ語に堪能で、

西南戦争・1877＝16歳：ホイットニーの英語塾に入って、その娘クララと知合った後、父の任地福岡県に移住。

沖縄県編入・1879＝18歳：父とともに、来日中の前アメリカ大統領グラント将軍と会い、流暢な英語を話して大絶賛される。

・1880＝19歳：再上京し、旧大村藩家老小鹿家の子と婚約。旧大村藩主に従い、_イタリア、次いでフランスに留学し、

明治14年政変 1881＝20歳：

新体詩抄・1882＝21歳：_帰国。

秩父事件・1884＝23歳：官吏小鹿島果と結婚。鹿鳴館のバザーに参加し、しばしば舞踏会に出かける。

内閣発足・1885＝24歳：華族女学校(女子学習院)のフランス語教師となる。

帝国大学始・1886＝25歳：_長女を出産するも、知的障害があり、幸子を伴って津田梅子から受洗。

国民之友始・1887＝26歳：父が男爵に叙せられ華族となる。

初の対等条約1888＝27歳：大日本婦人教育会の設立に木村貞子と奔走し理事に就任、女子教育の普及に力を注ぐ。

帝国憲法発布 1889＝28歳：

帝国議会始・1890＝29歳：_出産した次女がまもなく死去。

足尾鉞毒始・1891＝30歳：_三女を出産するが、

大本教・1892＝31歳：*夫が病死。この年石井亮一が知的障害児教育に専念すべく滝野川に移転した孤女学院に長女を預け、

郡司千島探検 1893＝32歳：_ローズ経営の宗教学校静修女学校校長に就任。敷地内に住んで生徒と一緒に過す。

日清戦争始・1894＝33歳：女子学習院付属幼稚園の主事も兼任。

日清戦争終・1895＝34歳：_石井亮一の人格に感銘して講師に招聘、孤女学院資金募集の発起人になるなど、亮一を支援して行く。

白馬会・1896＝35歳：_女子学習院で後に大正天皇の皇后となる九条節子にフランス語を教授。

八幡製鉄始・1897＝36歳：{大日本婦人教育会雑誌}に、_男女同権と女子教育の重要性訴える論説を発表。

政党内閣初・1898＝37歳：三女も夭折。_津田梅子とともに、アメリカのデンバーで開かれた婦人倶楽部万国大会に出席、シカゴの孤

Bushidou・1899＝38歳：_帰国。梅子とともに、昭憲皇后に拝謁し報告。女子学習院を退職。

教科書疑獄・1902＝41歳：_静修女学校も解散し、土地・建物・生徒等を梅子の女子英学塾に託し、

日比谷公園・1903＝42歳：*石井亮一と再婚。以後、(孤女学院改め)滝乃川学園にすべてを打ちこみ、

日露戦争終・1905＝44歳：

満鉄発足・1906＝45歳：_保母養成部で英語・歴史・習字・裁縫などを教えたが、学園運営経費の捻出に精力のほとんどを費やし、

明治天皇没・1912＝51歳：

21ヶ条要求・1915＝54歳：

民本主義・1916＝55歳：長女が死去。

大暴落・1920＝59歳：*園児の火遊びから学園が火事となり、6名の子供が焼死、園児救済に飛び込んで片足を痛め不自由の身となる。夫と学園閉鎖を決意するも、貞明皇后の激励を受けて再建を誓ううち、財団法人として認可される。

原敬首相暗殺 1921＝60歳：夫とともに、皇室主催赤坂離宮御苑観菊会に招待される。

水平社結成・1922＝61歳：宮内省より下賜金。去年に続き観菊会に招待される。山階宮が来園。

関東大震災・1923＝62歳：夫とともに、皇室主催新宿御苑観桜会に招待される。

護憲三派圧勝 1924＝63歳：皇太子ご成婚で下賜金。

治安維持法・1925＝64歳：この年も観桜会に招待される。

金融恐慌・1927＝66歳：天皇より下賜金。

共産党事件・1928＝67歳：滝乃川学園後援会が発足。皇族多数が来園。

世界恐慌・1929＝68歳：宮内省より下賜金。

海軍軍縮条約 1930＝69歳：皇后より下賜金。夫とともに、新宿御苑観菊会に招待される。

満州事変・1931＝70歳：東京劇場でチャリティーイベント開催し、皇族多数の訪問を受ける。

五一五事件・1932＝71歳：_脳溢血で倒れ、以後、半身不随。

国際連盟脱退 1933＝72歳：皇太子誕生により下賜金。

日中戦争始・1937＝76歳：秩父宮が来園し、皇后から諸品など賜るなか、_夫が死去したため、園長に就任。

大政翼賛会・1940＝79歳：学園創立50周年記念式典を挙行し、「石井亮一全集」「石井亮一伝」刊行。

日米開戦・1941＝80歳：_日米戦争のなか、

・1942＝81歳：_かつての日本代表としての訪米記録「過ぎし日の旅行日記」刊行し、

年金+総武装 1944＝83歳：*園長在任のまま、没した。

著書に「火影」などがある。

「日本の女性」、インターネット「日本キリスト教女性史」ホームページほか、